

令和7年11月19日

課名 商工労働局県内投資促進課

担当者 海外ビジネス担当監 船石

内線 3381

IWC2026「SAKE 部門」ひろしま開催に係る基本合意書締結式について

1 要旨

International Wine Challenge「SAKE 部門」の2026年ひろしま開催にあたり、11月19日に「IWC2026「SAKE 部門」ひろしま開催実行委員会」（以下「実行委員会」という。）とIWC Events Limitedとの間で開催に係る基本合意書締結式を実施する。

2 開催合意書締結式

（日時） 令和7年11月19日（水） 午後1時00分から1時30分まで

（場所） 広島県庁北館第1会議室

（出席者）	IWC Events Limited	代 表	Chris Ashton (クリス・アシュトン) 氏
	IWC2026「SAKE 部門」ひろしま開催実行委員会	会 長	梅田 修治 (広島県酒造組合会長)
		副 会 長	湯崎 英彦 (広島県知事)
		副 会 長	高垣 廣徳 (東広島市長)
（同行者）	株式会社コーポ幸 代表取締役(IWC アンバサダー)	平出 淑恵	(ひらいで としえ) 氏
	IWC Events Limited IWC Sake Event Manager	加藤 由子	(かとう ゆうこ) 氏
	日本酒造青年協議会酒サムライ事務局	入江 啓祐	(いりえ けいすけ) 氏

3 実行委員会構成団体および予算について

・全市町に対して実行委員会への参加の意向を確認した結果、構成団体は以下のとおりとなった。

〔広島県酒造組合、広島県、広島市、呉市、竹原市、三原市、福山市、三次市、庄原市、東広島市、府中町、安芸太田町、北広島町、大崎上島町、神石高原町〕

・予算案(R7～8年度) 48,658 千円

内訳：広島県 27,358 千円、東広島市 9,800 千円、その他市町（見込み）6,500 千円、
酒造組合 1,000 千円、協賛金（見込み）4,000 千円

4 IWC2026「SAKE 部門」ひろしま開催ロゴ（案）



「お酒が楽しめるのは、平和であるからこそ」という国際的なメッセージを折り鶴を抽象化したロゴで表現するとともに、吟醸発祥の地の「酒」の要素を、「O」を猪口の蛇の目デザインにすることで表現

5 IWC2026「SAKE 部門」ひろしま開催 スケジュール（予定）

令和8年5月18日（月）～21日（木）審査会実施（会場：東広島芸術文化ホールくらら）

※その他、審査会前後日程で歓迎レセプション、表彰セレモニー等併催行事を開催予定



【参考】International Wine Challenge「SAKE 部門」について

2025 年にロンドンで開催された SAKE 部門審査会（写真提供：入江啓祐氏）

1 概 要

International Wine Challenge（インターナショナル・ワイン・チャレンジ）は、1984 年に設立された、世界的に最も権威あるブラインドテイスティング審査会の一つ。

SAKE 部門は 2007 年に設立。日本国外で行われる SAKE 審査会としては最大かつ最も影響のあるイベントの一つとされている。

日本での開催は、2012 年東京、2016 年兵庫、2018 年山形に続き広島が 4 回目で、2026 年は SAKE 部門の設立から 20 周年の節目の年となる。

（2012 年の東京開催については、福島原発事故を受けての EU 輸入規制等のリスク回避のため日本での実施となった経緯がある）



2 2025 年の実績

- 2025 年は 387 社（うち海外が 11 社）から 1,476 銘柄がエントリー。

評 価	銘 柄	受 賞 者
Champion Sake	七賢 純米大吟醸 白心	山梨銘醸株式会社（山梨県）
Great Value Champion Sake	華秋田	株式会社北鹿（秋田県）
Sake Brewer of the Year	—	株式会社新澤醸造店（宮城県）
Prefecture of the year	—	宮城県

- 広島県産日本酒のトロフィーの獲得状況（地域トロフィー含む）

部 門・評 価	銘 柄	受 賞 者
純米酒部門（地域トロフィー）	特別純米 雨後の月 十三夜	相原酒造（呉市）
スパークリング部門（トロフィー）	賀茂鶴 スパークリング清酒 光壽	賀茂鶴酒造（東広島市）

3 審査方法・評価について

- 審査は「普通酒」「純米酒」「純米吟醸酒」「純米大吟醸酒」「本醸造酒」「吟醸酒」「大吟醸酒」「スパークリング」「古酒」「熟成」の10部門（2025年実績）。各部門でブラインドテイastingによって行われる。
- 評価は「Gold（ゴールドメダル）」「Silver（シルバーメダル）」「Bronze（ブロンズメダル）」「Commended（大会推奨酒）」の4種類。Goldを獲得した出品酒の中で特に優れたものに「Trophy（トロフィー）」が与えられる（Trophyにはわずかに及ばなかったものの高い評価を得た、産地が異なる次席の銘柄に授与される「地域トロフィー」もある。）。
- SAKE部門の最高賞として、各部門のTrophy受賞酒の中から1点に、「Champion Sake（チャンピオン・サケ）」の称号が授けられる。
- 日本での小売価格が1,500円（税抜・四合瓶換算）以下、かつ生産量が10万本以上（四合瓶換算）という優れたコストパフォーマンスを持った出品酒には「Great Value Sake（グレート・バリュー・サケ）」が与えられ、その中の1点が「Great Value Champion Sake（グレート・バリュー・チャンピオン・サケ）」に選出される。
- 出品酒すべてが高評価を得た酒蔵は「Sake Brewer of the year（サケ・ブリュワール・オブ・ザ・イヤー）」として表彰される。
- 2024年からは、エントリーした酒蔵が優れた総合成績を収めた都道府県に対して「Sake Prefecture of the Year（サケ・プリフェクチャー・オブ・ザ・イヤー）」が授与されている。長野県（2024年）、宮城県（2025年）が受賞。

